



振り返った私の人生

私が育った環境は、祖母、父、母、姉、弟の7人家族で、ごく普通の生活であったと思います。当時、白庭で調理しており、まき炊き水は井戸から釣瓶で汲みあげ、燃料の薪は小学生の役割で近所、集落の友だちと落ち葉枯木拾いに行っていたのを覚えています。現在のレジャー感があつたような気がしません。そんな中、島内には勤め先もない父が出稼ぎ・仕送りのため島外に出ます。間もなく行方知れずとなりますが、母の力で中学卒業までは何とか明るく楽しい貧乏生活を過ごしました。

母は「よそさんは他所さん」「人



森山 清文さん
(旧姓：荒木)
菅牟田出身・昭和27年生まれ
現住所：大阪府大阪市在住
現職：(株)森山左工 役員

の悪口を言うな」「影、日向なく働け」とよく言っていました。いま思えば、他人を妬むな、誹謗中傷するな、謙虚であれと伝えなかったのでしょうか。そんな教えを受けながらの就職。学歴のない子が社会の役に立つにはと考え、勤めのまま左官職(丁稚奉公)に就き、53年経とうとしています。

15歳で長島を出てさまざまなかんじを経験するわけですが、地元で頑張っている全ての人に比べると小さな難儀に思え、乗り切れたような気がして感謝でいっぱい。会社も世代交代となり、これからのような恩返しができるかと考えているところです。

ただの個人になりたい、恥ずかしいですが高校受験をして今



年の4月から通学しています。孫と同級生になり励んでいます。長島の同窓生より53年後輩となりますが、まだまだ学ぶことがたくさんあり楽しみです。これも家族の協力と、「関西ながしま会」の幹事長辞任を受理してくださった役員さんたちの心遣いが成し得たものと感謝しております。

大阪では新型コロナ感染真つ只中ですが、ワクチン接種も進み安堵しているところです。各種情報など踏まえた後に帰省が叶うことを願っております。また、長島町のみなさまのご健康と、企業のみなさまの益々の発展をお祈り申し上げます。

編集後記

広報担当になる前は防災担当をしていました。そこで学んだのが、「自然は恵みを与えてくれるが、時に牙をむく」ということです。最近は牙をむき出しすぎている気がします。

いつ何が起ころうともいえないに、私は食べ物から備えたいと思いまわ。



係広報秘書課総務
脇田 圭祐

6月17日、全国の地域おこし協力隊が会する「協力隊オンライン初任者研修」に参加しました。OBのかたがたを講師陣に、制度やサポート体制、任期中の奮闘記、定住した現在など、実りある学びがありました。3年の任期。もう半分が経ちますが、焦っていいことを精一杯、行動するのみ。毎日を大事にします。



地域おこし協力隊
江副 佑輔